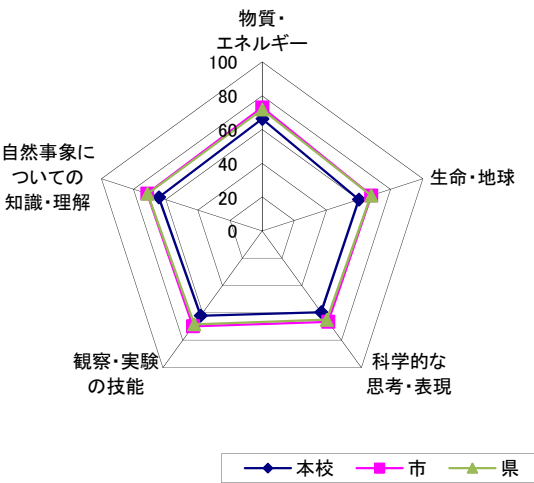


宇都宮市立海道小学校第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	66.4	73.1	71.8
	生命・地球	60.2	67.9	67.8
観点	科学的な思考・表現	59.4	66.5	65.0
	観察・実験の技能	62.0	69.7	68.4
	自然事象についての知識・理解	64.3	71.6	71.4



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	●領域の平均正答率は66.4%で、県平均より5.4ポイント低い。 ⇒○特に、虫眼鏡で光を集めたときの明るさや温度の違いがわかるについての設問の正答率が66.7%で県平均より11.1ポイント高い。虫眼鏡の使用についての理解に一定の成果が見られる。 ⇒●特に、電気の通り道についての設問の正答率が低い。電気の通り道に関する理解に課題が見られる。	・実験を行うに際し、その目的・事前の予想・予想を検証するための実験方法・実験の結果・予想と結果からの考察等をはっきりとさせて学習を進めていく。 ・実験に使用する道具の名前や使用方法を大切に扱う。 また、日常生活の中で名前や使い方を確認していく。 ・回路についての設問につまづきが見られた。実験やデジタル教材で再度確認を行い理解度を高めていく。
生命・地球	●領域の平均正答率は60.2%で、県平均より7.6ポイント低い。 ⇒○身の回りの植物の種子と育ちについての設問の正答率が63.3%と県平均より2.7ポイント高い。 ⇒●磁石の性質に関する設問の正答率が6.7%と県平均より12.4ポイント低い。磁石の使い方や性質について課題が見られる。	・磁石の性質を理解させるためにデジタル教材を使って覚えさせたり、図や絵を入れた新聞を作らせたりするなど、機器や作業学習を導入して理解させる。 ・学校の花壇や周りの自然観察等、身の回りにある環境を活用して指導する。